

学校応援団リレー



瑞江 小学校

1. 学校長からのメッセージ

11月2日に「開校90周年」の記念式典・祝賀会を迎える瑞江小学校です。保護者や地域の皆様に温かく見守られて、長い歴史を刻んできました。今年は、例年以上に、地域・保護者の皆様とお会いする機会も多く、「学校応援団」の完全な立ち上げができるように会合を進めています。

これまでの、学校と家庭・地域とのかかわりの中で、学校応援団の下地になっている活動もいくつかありますので、それを基盤にして「無理なく・無駄なく・着実に」を基本に「学校応援団」の組織を充実させていきたいと考えております。

どうぞよろしくお願いいたします。

2. 昨年度までに活動が始まっている「応援団」のものは・・・

下校見守りの支援

○町会のボランティア組織

読み聞かせと

図書室整備

○保護者のボランティア組織

&

3. どんな組織や内容にしていこうか・・・

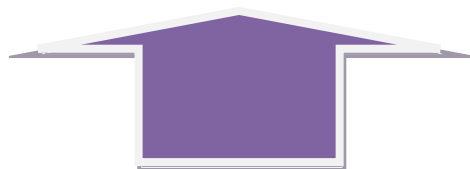
現在すでに、ご支援ご協力をいただいている活動を生かしながら進めます。

下校見守り隊

- 下校の見守り
- 不審者対応
- 通学路の安全点検

読み聞かせ隊

- 朝の読み聞かせ
(週1回 金曜日)
- 図書室の室内環境整備
蔵書の修理等



「下校見守り支援」をして下さっている、町会の皆さんに感謝する集会の様子です。

(7月中旬)

★今後の方針は・・・

「定期的に活動する内容」と
「不定期や単発で活動する内容」を盛り込む。

★どんな活動が考えられるか・・・

- ・ 学校全体の花壇や学年園の整備
- ・ 風づくりや栽培活動など、体験活動での支援

学校応援団 平成22年度実践報告

1 学校名及び校長名

江戸川区立瑞江小学校 校長 深津 郁子

2 今年度の活動内容

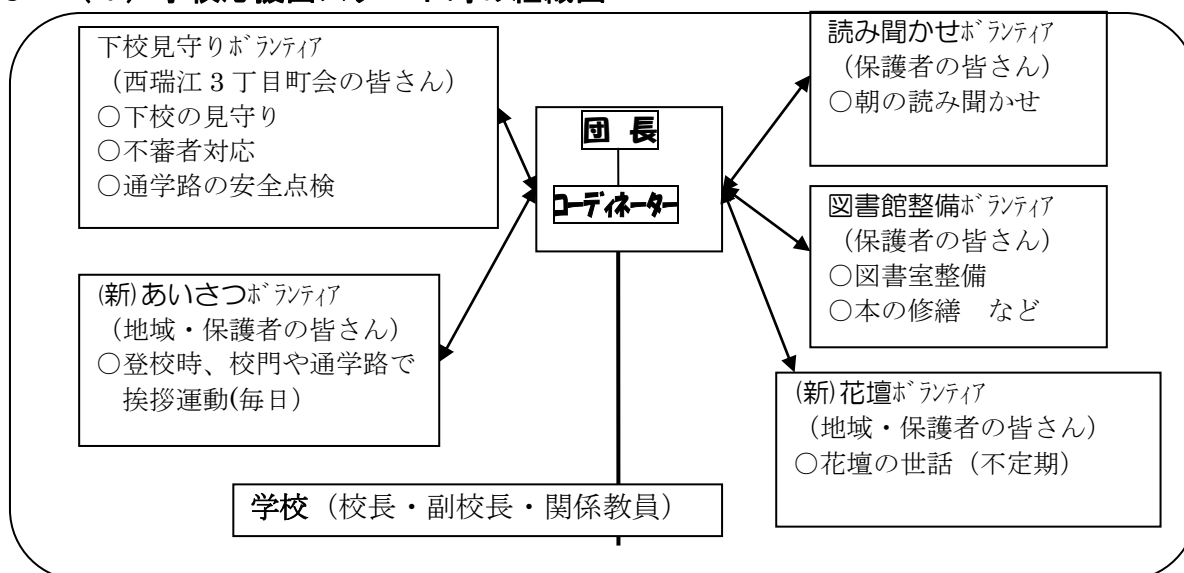
(1) 母体となるボランティア活動

- ①「下校見守り隊」……西瑞江三丁目町会の皆さん
 - すくすくスクールからの下校時。(午後5時頃)
 - 児童の交通安全と不審者対応。
 - 地域(通学路)の安全点検。
- ②「読書ボランティア」と「学校図書館整備ボランティア」
 - 読み聞かせ活動
 - ・特別支援学級を含む全学級を対象。
 - ・毎週1回(金曜日)、始業前の8:30~8:40の10分間。
 - ・年間30回程度実施。
 - 図書室整備活動
 - ・毎週1回(火曜日)、午前中。
 - ・本の修理、本の整備、図書室のディスプレイ等。
- ③「交通安全旗振り」活動
 - ・朝の登校時、PTA活動の一環として実施している。
 - ・主要な交差点で児童の登校を見守る。(当番制で活動)

(2) 来年度(23年度)の正式発足に向けて

- ① 8月-----素案の提案
- ② 9月-----学校の考えを取りまとめる。(組織図を参照)
- ③ 10月-----地域・保護者に向けての第1回案内(周知)を行う。
- ④ 12月-----「地域教育懇談会」で「瑞江小学校応援団」の具体的な説明と懇談を行う。
- ⑤ 1月-----地域・保護者に向けての第2回案内を行う。
新組織の「あいさつボランティア」の発足相談についての周知。
- ⑥ 2月-----「あいさつボランティア」の発足相談会を実施。
- ⑦ 3月-----「学校応援団」正式発足

3 (1) 学校応援団スタート時の組織図



(2) 各ボランティアの調整役

- 団 長 …… 市川 茂 さん (前PTA会長)
- コーディネーター …… 宇田川 恭央 さん (元PTA会長)
- 宇田川 公一 さん (現PTA会長)

(3) 「あいさつ」ボランティア

- あいさつは、日常的に行われることが大切で、子どもたちへの働きかけも日常的でありたいという思いから、「あいさつ」ボランティアの組織については、以下の通りスタートする予定である。
- 「下校見守り隊」・PTAによる毎朝の「交通安全旗振り活動」において、それぞれの活動中に、児童への働きかけを積極的に行う。
- 地域の皆さんは、自宅近くの通学路に出て、子どもたちに声をかける。
- 活動は毎日を基本にするが、体調やその日の天候に応じて無理しすぎないように行う。

4 今年度の成果と今後の課題

- 瑞江小学校応援団の母体となっている「下校見守り隊」の活動や、保護者ボランティアによる朝の読み聞かせ活動・図書整備活動はすでに活動している分野なので、スムーズに移行できるのがさいわいである。
- 新設する「あいさつボランティア」の発足相談会では、子どもたちへの啓発活動として、大人が見本を示す意味も含め、今すでに活動している「下校見守り隊」やPTA活動の際に並行して行う活動でスタートすることになった。スタート時はしっかりした組織立てをしないが、輪が広がっていくように取り組んでいきたい。
- 地域の皆さんの意欲が高いことに感謝するとともに、保護者の皆さんの意識向上に向けて、学校からの発信をきめ細かく行っていく必要がある。
- 学校で必要としていることを明確に具体的に提示することで、学校応援団の内容も臨機応変することを踏まえ、学校からの発信を的確に行ってようしていきたい。

5 学校長より

本年度、「開校90周年」の記念式典・祝賀会を迎えた瑞江小学校にとって、保護者や地域の皆様に温かく見守られて、長い歴史を刻んできたことを深く感じることができました。例年以上に、地域や・保護者の皆様とお会いする機会も多く、「学校応援団」の完全な立ち上げの準備期間と重なったことで、さまざまなお話をすることができました。

本校の「学校応援団」は、大きく分けると、年間を通してのボランティア活動と、必要に応じて支援していただく活動の2つに分けられます。学校と家庭・地域とのかわりの中で、学校応援団の下地になっている活動もいくつかありますので、それを基盤にして「無理なく・無駄なく・着実に」を基本に「学校応援団」の組織を充実させていきたいと考えております。

どうぞよろしくお願いいたします。

本校の学校応援団の活動は、今年度初めて学校応援団を募集・組織し、運営してきたわけですが、子どもたちの声は概ね好評だったように思います。また、今までは学年の保護者に募集をかけて、校外学習の安全確保をお願いしてきたものが、全てとは言えませんが、徐々に学校応援団の協力を得る取り組みとなりつつあります。

今後は学校応援団の募集については、保護者のみに限定せず、地域の方々も広く募り、支援をしていただき、より充実した学校教育を推進して参りたいと考えます。まだまだ課題も山積していますが、着実に一步一步積み重ねていく所存です。